

2022年 12月17日(土)  
9:30~15:30

横手市ふれあいセンター  
かまくら館2階ホール (横手市中央町8-12)

※駐車場が限られていますので公共交通機関の利用をお願いします。

入場無料 定員 160人(先着順) 申込 不要

今年度の金沢柵推定地金沢城跡西麓部の調査では堀と柵が確認されました。金沢地区で堀と柵が検出されたのは初めてであり、清原氏の柵とされる大鳥井山遺跡(横手市)や虚空蔵大台滝遺跡(秋田市)と同様の構造である可能性があります。今回は、清原氏の柵をはじめ、安倍氏・奥州藤原氏が築いた平安時代の堀と柵の関係を比較することで、今回の調査で確認した柵が金沢柵の時代のものといえるか検討します。さらに、特別講演で「古代後期から中世前期の合戦の実像」として、900年前の戦いの様子について講演頂くことで、当時の合戦の様子を再認識し、金沢柵の実像に迫ります。

# 金沢柵を考える

令和4年度後三年合戦シンポジウム



金沢柵の攻防(戎谷南山『後三年合戦絵詞』)

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策



シンポジウム終了後、当日の様様をYouTubeで動画配信します。



主催: 横手市教育委員会

申込・問合せ先: 横手市教育委員会教育総務部文化財保護課

TEL:0182-32-2403 FAX:0182-32-4034 E-mail:bunkazaihogo@city.yokote.lg.jp



# 令和4年度 後三年合戦シンポジウム日程 —金沢柵を考える—

◆12月17日(土)

8:45～ 9:30

開場・受付

9:30～ 9:40

開会行事・趣旨説明

9:40～10:40

特別講演「古代後期から中世前期の合戦の実像」

講師：高橋 一樹氏(明治大学文学部教授)

10:40～10:50

—休憩・換気—

10:50～11:10

報告1「藤原氏の阿津賀志山防塁と  
城氏関連の陣が峯城跡」

講師：佐藤 俊氏(公益財団法人福島県文化振興財団)

11:10～11:30

報告2「藤原氏の平泉遺跡群の区画施設」

講師：島原 弘征氏(岩手県平泉町教育委員会)

11:30～11:50

報告3「安倍氏の鳥海柵跡と川崎柵跡の区画施設」

講師：浅利 英克氏(岩手県金ケ崎町役場)

11:50～13:00

—休憩・換気—

13:00～13:20

報告4「清原氏の柵 虚空蔵大台滝遺跡の区画施設」

講師：利部 修氏(由理柵・駅家研究会)

13:20～13:50

報告5「清原氏の柵 大鳥井山遺跡の区画施設と  
金沢柵推定地の調査成果」

報告者：島田 祐悦(横手市教育委員会)

13:50～14:00

—休憩・換気—

14:00～15:30

後三年合戦シンポジウム「金沢柵を考える」

コーディネーター：八重樫 忠郎氏(岩手大学客員教授)

パネリスト：講演講師陣

15:30～

連絡事項・閉会



今年度の調査で確認された堀と柵



主催：横手市教育委員会

問合せ先：横手市教育委員会

教育総務部文化財保護課

TEL:0182-32-2403

FAX:0182-32-4034

E-mail:bunkazaihogo@city.yokote.lg.jp